

2024.02.06. 祈り会特別配信「3語の祈り」

主よ、私たちが家族として集えるこの時を感謝します。今夜、学ぶだけでなく、祈りを必要としている人たちを掲げるためです。ですから、共に過ごす時間を祝福くださいますか？ 主よ、あなたが私たちの人生にしてくださっていることに心から感謝します。私たちがあなたの教会であり続けられ、主よ、リーダーたち、スタッフと、共にい続けて下さいますように。私たちの牧師たちに、あなたの御言葉を、御言葉全てを宣べ伝えるため必要な御力を与え続けてくださいますように。再度、心から感謝します。感謝するのが止まりません。ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

こんばんは。ご機嫌いかがですか？ どうぞご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインでご覧の方も、ご参加くださりありがとうございます。今夜私は、簡単な←キーワード簡単なメッセージから始め、妻についての祈りの近況をお知らせしたいと思います。それから、牧師たちに上がってもらい、それから、子供ミニストリーを管理している伊藤クリスに上がってもらいます。はははは！ 今日、スタッフミーティングしたんですよ。その後、時間が許せば、、、聖霊に多くの余地を与えたいと思いますが、時間が許せば、祈りのリストにある多くの祈りのリクエストのために、教会全体でのとりなしの祈りに開放したいと思います。まだ手元に取っておられないなら、今のうちに、リストを取っておいてください。これらはメールを頂いたものです。メールリストに登録されていない方で、登録を希望される方は、どうすればいいのかわからないけど、私はもうしているからね。今それが問題です。ゲイルが教えてくれると思います。オフィスに送るのかな。もっと仕事が増えるんだね。OK。良かった。ゲイルにメールしてください。彼女が対応してくれます。私たちは常に、最近の祈りのリクエストの要望の最新情報を提供するようにします。ちなみに、これらは世界中の人々から祈って欲しいと寄せられたもので、彼らの多くが、非常に困難な試練を経験しておられ、実は今夜は、このことについて少しお話ししたいのが、私が「3語の祈り」と呼んでいるものに関して、主が長年にわたって私の目を本当に開いてくださったことです。言葉にならない祈りについて話してきましたね。涙の祈りについて、話してきましたね。しかし、しばしば短い祈りがあって、でもそれは間違いなく力強いのです。それを今夜、見ていきます。しかし、それが言葉にならない祈りであろうと、涙の祈りであろうと、短い祈りであろうと、私たちが知っているのは、神はすべての祈りに答えてくださるということです。言葉になってもならなくても、ギリギリで口にした3語の祈りでも、神は、答えてくださいます。あなたがそれを体験しているから。「マタイの福音書 14 章」の非常に有名な聖句に注目してください。22 節から 32 節までを読みます。この記述には、人生を変える真理がたくさんあります。数ある中から 2 つだけ指摘します。一つ目は、前述の 3 語の祈りに関してで、つまり、それしか祈ることができない祈りです。「神様、助けてください。主よ、お助けください。主よ、お救いください。」でも 2 つ目も、おそらくもっと重要で、人生の試練に関してです。説明します。神は、私たちをより危険な試練から守るため、私たちをある試練に入れる必要があるとお考えになります。それを覚えておいてください。より大きな試練から私たちを守るため試練に入れられるだけではなく、より大きな奇跡のため、私たちを準備するために試練に入れられることもあります。では、「マタイの福音書 14 章」22 節から、この言葉に注目してください。「すぐに」ここで 2、3 回見ることになりませんが、その「緊急性」に留意ください。「すぐに」：緊急性

一 マタイ 14 : 22 一

それから“すぐに”、イエスは弟子たちを舟に乗り込ませて、自分より先に向こう岸に向かわせ、その間に群衆を解散させられた。

それが鍵です。群衆とは？ 少年の魚とパンの弁当から、奇跡の食事を目撃した大勢の人々です。何千人もの人々です。因みに、この記録は、2 つ記述があって、“群衆に食事を与える”と愛称する一つの奇跡が同じには記されてはおらず、1 箇所には 4000 人、もう 1 箇所には 5000 人とあります。理解すべきは、男性の数だけを取っていて、子供や奥さん、家族を含んでいません。つまり、2 万人以上がそこにいた可能性があるという説もあります。彼らは救い主からの教えに耳を傾けていますが、空腹です。ですから、イエスが奇跡的に食事を与え、余ったほどだったのです。そしてイエスは弟子たちを集められました。なぜこれが鍵なのか？ なぜならイエスが弟子たちを舟に乗せ、群衆がこんな風に言い出すことから引き離す緊急性があるからです。「朝食は何ですか？」つまり彼らは、奇跡の中の奇跡を目撃しました。誰もが想像しうる以上

の。こうなっていたはずなのが、、私がもしそこにいたら、だから私はいなかったのですが、皆さんだっ
ていなかったでしょうね。私だったらこう言ったでしょう。

「なぜ急ぐのですか？ 私たちは、大勢の人々に食事を与えるこの奇跡を目の当たりにして、釘付けです。
なぜここで教会を始めないのですか？ すぐに大きな教会ができますよ。その教会の名は、"カルバリーチャ
ペル・群衆に食事を与える"」

でもイエスが弟子たちを連れ去り、大群衆を追い払ったのには理由があります。

一 マタイ 14:23 一

群衆を解散させてから、イエスは祈るために一人で山に登られた。...

イエスが祈るため一人になられたことは、福音書の至るところに記されています。何度そうされたことでし
ょう。癒しを求めて、イエスの注意を引こうとする多くの人々の、数多くのニーズが満たされないままにし
て。イエスは一人で祈ることができるよう、大群衆から離れ、立ち去り、彼らを追い払われました。この時
ばかりは、弟子たちを群衆から引き離し、群衆を追払い、弟子たちをガリラヤ湖から脱出させるため、緊急
に舟に寄せられました。イエスはこうです。

「向こう岸で会えます。わたしは祈りに行きます。向こう岸で会いましょう。早く乗りなさい。さあ、早く
急いで。」そういう緊急性です。

...夕方になっても一人でそこにおられた。

一 マタイ 14:24 一

舟はすでに陸から何スタディオンも離れていて、(ガリラヤ湖です。) 向かい風だったので波に悩まされて
いた。

サッと手短かに言いますが、彼らはガリラヤ湖の真ん中において、嵐のさなかで、でも彼らがそこにいるの
は、神の御心のただ中なのです。これは神が、子なる神、受肉した神が、ガリラヤ湖のど真ん中の、生と死
の危険な嵐の真っ只中に、わかっていながら彼らを送り込まれました。しかし、彼らは神の御心のど真ん中
にいます。私のポイントは？ 私のポイントはこうです。私たちは、人生の状況を誤解するとき、大きな間
違いを犯します。風が逆巻くとき、逆境に立たされるとき、人生の嵐が襲ってくる時、私たちの一般的な
反応やリアクションは、

「私は神の御心から外れているに違いない。そうでなければ、こんな嵐は起きない。」違います。人生の
嵐、人生の試練の真っただ中においても、あなたの人生に対する神の御心の真っただ中にいます。繰り返しま
すが、「逆境だから、神の御心に適っていない。」と考えるのは大きな間違いだと思います。それは言わ
ば、非常に危険な間違いです。それに付随してくるのは、その裏返し、順風満帆なら、自分は神の御心に
いるに違いないと考え、荒れ模様で逆境なら、神の御心にはいないに違いないと考える。言っておきますと、そ
れってクリスチャンとして非常に恐ろしい所にいますよ。その理由は、私たちがいる大半は、ある人が言っ
たように、試練の真っ最中か、試練から抜け出したか、あるいは試練に入る直前だったと思いませんか？そ
れを知ると、心が満たされるような気がしませんか？ 言い換えれば、試練、試練、試練。もし私の神学
が、言い方はまずいですが、逆境に立たされると、私が神の御心にはいない、順風満帆であると、御心に
いる、だとしたら、私は、一年のうち2日くらいしか、御心にはいないことになります。だって、後の300...
計算が正しいのを願いますが、残りは、363日ですよ？ 良かった。計算はあってます。後の363日
は、試練において、御心にはいないことになります。冗談でしょ？私は1年の内、2日しか神の御心にはいませ
ん。試練の中にいないのはその2日間だけだから。そういうことになるでしょ？ OK。先に進みましょう。

一 マタイ 14:25 一

夜明けが近づいたところ、...

ここには多くがあります。ごめんなさい。中断して、混乱させますが、これが夜が開ける前の一番暗い時間

です。よく言われる言葉です。「光がさす前が一番暗い。」今、彼らは、、これは私たちのための御言葉箇所です。でも彼らは、震え上がっています。彼らは、

「これが終わり。イエスが僕たちを嵐の中に遣わされた。僕たちは乗り越えられないよ。」

ー マタイ 14:25 ー

夜明けが近づいたころ、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに来られた。

彼らは嵐の真っ只中にいます。この箇所は今から見ていく通り、非常に有名です。でも弟子たちは、嵐の真っ只中にいて、留意ください、イエスが、彼らのところへ行かれます。イエスが、彼らのところへ行かれます。イエスの目は、いつも彼らを見ておられます。イエスは、彼らに何が起きているのかを正確に知っておられます。つまり、結局のところ、彼らを嵐の中に送り込んだのはイエスです。で、イエスは彼らのところへ行かれます。今夜ここにいる誰か、あるいはオンラインで見ている人のためかもしれません。イエスは最も暗い時、危険な嵐の中で、あなたのもとに来てくださいます。留意ください。イエスは湖の上を歩いています。イエスはまさにあなたの人生の嵐の中を歩いておられるのです。

「わたしはこの嵐の主、わたしは嵐を支配し、わたしは嵐の上を歩き、嵐の真っ只中であなたのところへ行きます。」と仰るかのように。

ー マタイ 14:26 ー

イエスが湖の上を歩いておられるのを見た弟子たちは「あれは幽霊だ」と言っておびえ、恐ろしさのあまり叫んだ。

さて、想像がつくかもしれませんが、あなたには何も見えていません。あなたはかろうじてしがみついて強風に耐えています。どれほど危険なものなのか、それを説明することさえできません。貿易風です。

「この国には、貿易風はなく、柔らかく、優しいそよ風だった。」いいえ、これはハリケーン並の強風でした。強風で、この船が打ちのめされていました。弟子たちはそういう状況でした。つまり、これ以上酷いものはないと思うほど酷い状況の矢先、この嵐の中に人影が現れ、その上を歩いている。そして自分に近づいてくるのです。なんてこった！

ー マタイ 14:27 ー

イエスは「すぐに」彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない」と言われた。

私は28節が大好きです。「するとペテロが、」私たちはある復活祭の説教で、強調しましたが、福音書の中で何度、あったか。「弟子たちはこうした。するとペテロが、」 = この2語 こんな感じです。

「弟子たちと、そしてペテロ。あ〜わかった。ペテロ、君もね。」誰かがこんな風に言う時みたいで、、

いやいや。やめておきます。ええ、私とその受け手というのは、なんというか、そんな感じです。「紳士の皆さん。そしてJ.D.」

ー マタイ 14:28 ー

するとペテロが答えて、「主よ。あなたでしたら/if、...(これは、あなたなので/since です。ペテロがイエスカどうか疑問を持っていたとは決して思わないでください。)原文では、「あなたなので/since」です。なぜなら、考えてみてください。「もしあなたなら、来るよう命じてください。」とはペテロは言わなかったはずで。いや、ペテロだってそんなことは言いません。ですから、「あなたなので、来るよう命じてください。主よ、あなただからです。」

..私に命じて、水の上を歩いてあなたのところに行かせてください」と言った。

多くの人がペテロに厳しすぎると思うのはこの点です。何が起こるかわかっているから。文字通り、ペテロは沈みます。でも彼があまり評価されないのは、彼が持っていた信仰、勇気、そして主に、水の上を歩かせ

てもらうようにお願いする信頼です。他の弟子たちはしませんでした。つまり、本文には書かれていませんが、私自身を例にとって提案したいのです。私が舟に乗っていて、するとペテロがそう言うと、私はこうなります。「ペテロ、気が狂っているのか？」でもペテロは違います。「わ～主だ！！」覚えていますか？ 彼ら全員魚を釣ろうと一晩中頑張っていて、これはよみがえられた後のことですが、ペテロ、するとペテロが、彼らが大量の魚を捕まえて、それから船の反対側に網を入れた時、岸にいる人物に、彼らはまだイエスだと気づきませんでした。「反対側に網を広げなさい。魚が釣れます。」「いえ、こちら側では全く釣れませんでしたよ。」不思議に思いませんか？ どれほど舟の幅が大きいのか。反対側でそんな釣れると仰るなら。ええ、それを奇跡と言います。そして、イエスがされたことをされて、彼らはこの魚を全部捕まえる。するとペテロは、言います。「主だ！！」ペテロは何をするのか？ 彼は、舟から飛び出します。この時ペテロは、水の上を歩きませんよ。ペテロは岸に向かって泳いだ。「主だ！！」（ヨハネ 21：7参照）

その記述のどこにも、他の弟子たちがこう言ったのは書かれていません。「そうだ。主だ。行こう！！」ありません。唯一、ペテロは先に墓に到着しなかったのがわかります。ヨハネは、大変細かく、私たちに知らせようと、正確に書いています。墓が空っぽになったその朝、自分が先にそこに着いたことを。その時ヨハネは言います。他の弟子たちは、、、ええ、まあ優しいと言えるのは、こう言わなかったこと。ペテロが後で来たのは、私が彼を追い抜かしたから。（ヨハネ 20：4参照）でも、本当にその時だけなのです。でも、それ以外のときは、ペテロが正に一番にいるのがわかります。この箇所もそのひとつです。それでイエスは、ペテロに何と答えられるのか？ ペテロが、「来るように命じてください。」と言うと？ 「ペテロ、気は確かか？」違います。「ペテロ、またですか。」ではなく、イエスは仰いました。「来なさい。」

さて、ペテロは？ 彼は何と仰いましたか？ 「本当にいいんですか？ 私は行きますよ。でも、本当に本当に確かめておきたいのです。」いや、そんなことはありませんでした。

ー マタイ 14：29 ー

イエスは「来なさい」と言われた。そこでペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に行った。

誰もこのことを話したがりません。次のパートに進みたいからですよ。「ほら、イエスから目を離したからだ。」とか。とんでもない。まず、イエスのところに行くために水の上を歩きました。そのことについて話しませんか？ あなたがたはそんなことをしませんでした。イエスに願ひすらしていません。ペテロはそうしました。そして彼は実行したのです。ええ、わかっていますよ。だってそう言われているから。

ー マタイ 14：30 ー

ところが強風を見て怖くなり、沈みかけたので、、、

そして、これが3語の祈りです。「主よ、助けてください」と叫んだ。（ゴボゴボゴボ...沈みながら）そして誰もがそれを強調し、太字の斜体にアンダーラインを引き、最近では絵文字を添えたがります。待って、戻ってもらえますか？ ねえ、ペテロは水の上を歩いたんですよ。彼は水面を歩きました。どのくらいの間？ 語られていません。少なくとも少しは時間があつたに違いない。私はその時間を推定しようとは思いません。でもまず、彼が舟から出ることを考えてみてください。私はあの舟から出ませんよ。嵐なんですよ。波が舟に打ち付けているのに、あなた、舟から出るの？ そうなんです、彼は舟から出て、水の上を歩いているんです。なんだって?! いや、そうでないのは分かっていますよ。話を戻させてください。彼が目を離したのは事実です。彼が歩いているところを想像してみてください。まず第一に、私はただ、、、もし私がペテロなら、「僕、水の上を歩いているよ～」。そして、自分が歩いている水面を見下ろして、イエスから目をそらします。ドボーン。今や、彼は水面を歩いているのではありません。水の中に沈んでいくのです。しかし、私たちは、ペテロが、風が荒れ狂っているのを見たことを詳細に知らされています。改めて、台風並みの強い風で、彼は恐怖を感じました。そして今、心を満たしていた『水の上を歩いてあなたのところに行かせてください』と願ひさえした信仰が、恐怖に取って代りました。願ひ水面を歩く、それは信仰です。しかし、今は恐怖が信仰に取って代わり、彼は沈み始め、祈ります。この3語の祈り、「主よ、私をお救いください」と。公平に言って、彼には饒舌に祈る時間はありません。イエスがこう仰るのを想像できますか？

「おいおい、ペテロ、もっとちゃんと教えたでしょう？ 『私たちの父』はどうしたの？ 『御名を』は？」時

間がありません。私は沈んでいきます。私は沈み、溺れています。「主よ、私をお救いください。」そしてどうなるのか？ 再び、この言葉。31 節、

ー マタイ 14 : 31 ー

イエスは”すぐに”手を伸ばし、彼をつかんで言われた。...

ここは本当に注意せねばならないところです。というのも、私たちは、イエスがこのように仰った時、その口調に軽蔑や嫌悪があったのではないかと考えがちだからです。

... 「信仰の薄い者よ。なぜ疑ったのか。」

それは「あなたの信仰は小さいぞ！！」ではありません。それは小さな信仰ではなく、大きな信仰でした。あの舟から出て、水面を歩き出すのです。それは大きな信仰でした。でも、注目してください。「なぜ疑ったのですか？」救い主の口調はなんと慈愛に満ちていて、感情がこもっていただろう、と私は想像します。

「ペテロよ、あなたの神はそれほど大きいのに、なぜあなたの信仰はそれほど小さいのですか。なぜ疑ったのですか？」言い換えれば、ヤコブが言うように、疑念が状況を一変させました。疑う者。あなたは何でも神に求められます。しかし、疑ってはなりません。興味深い並行記述で、”疑う者は、海の波にあおられて翻弄される二重の心を持っている”からです。曖昧。(ヤコブ 1 : 6 参照)

いや、それが疑いです。そして、あなたが沈んでも何の不思議もありません。疑いはあなたを沈めます。沈めます。あなたの信仰は水の上を歩かせます。それが信仰です。32 節、

ー マタイ 14 : 32 ー

そして二人が舟に乗り込むと、風はやんだ。

さて、皆さんは間違いなく他の記述をご存知でしょう。これは彼らにとって初めてのロデオではなく、初めての嵐でもありませんでした。イエスが実際に舟の中で眠っていたときの話を覚えていますか？ そして、彼らはイエスを起こそうとしていたような? 「こんな時によく眠れるものですね。」彼らは主を起こすのです。「主よ、私たちは死ぬんですよ。何してるんですか？」そしてまた、イエスは非常に情け深いのです。「なぜまたパニックしているのですか？」緩い言い換えですが、「あなたの信仰はどうしたのですか？」そしてイエスは嵐に言い放ち、嵐を鎮めて、眠りに戻られました。(マルコ 4 : 35 - 41 参照)

「あなたはこのためにわたしを起こしたのですか？ まったくどうしたというのですか？」主は... 「風は彼らが舟に乗り込むと止み」彼らって誰ですか？ ペテロとイエスです。これはどうですか？ こう言ったほうがいいですね。イエスと、そしてペテロ。この嵐はまだ猛威を振るっています。風がやんだのは、彼らが舟に乗り込んでからでした。舟に乗っていた他の弟子たちの安堵の表情が想像できますか？ はあ、はあ、はあ、「主よ!」「ペテロよ。」「主よ！わお！あれは何だったんですか？」それが何だったのかお話します。「この嵐を承知で、あなたたちにこの舟に乗ってほしかった理由がわかりますか？ わたしは、あなたがたが元の岸に残っていたら、来ただろうもっと大きな嵐からあなたたちを守ろうとしました。」どういう意味ですか？ より大きな試練、より大きな嵐は、嵐と試練で、プライド/驕りのテストでした。私と一緒に考えてください。弟子たちは、かごの中に手を伸ばし、彼らはイエスがパンを裂き、祝福するのを目の当たりにし、パンは奇跡的に増え、可能性として 2 万人に十分なほどで、さらに食べ残しが出ました。(マタイ 14 : 17 ~ 20 参照)

因みに、もうひとつ興味深いことがあります。なぜイエスは弟子たちに余りを集めさせられたと思いますか？ 私は思うのですが、主よ、意のままに、再度それをすることができますよね。今度私たちがお腹が空いたら、ポン！ 男の子のお弁当を使って、、、、言います。

「ごめんよ。これを使って、これを増やして、私たちは食べ、大勢の人々を養います。」いいえ、これは因みに 1 週間内にしますが、私たちの人生のあらゆる詳細は、イエスが重要なのです。些細なことに。神は余り/残り物を用いられます。神はそのような些細なことを気にかけてくださいます。それは別の機会の別の題材です。それについてはまた話します。しかし、主は守っておられます。主をご承知の上で弟子たちを試練

に送られるのは、彼らが留まっていたら起こったであろうより大きな試練から彼らを守るためです。神は、何度私たちをこの嵐の真っ只中、試練の真っ只中に、知らぬ間に送り込まれたことでしょうか。神は実に緊急に、より小さな試練の中に私たちを送り込まれることで、より大きな試練から私たちを守っておられます。私たちが留まっていたら、驕るからです。これについて日曜日に話しました。

「高慢は破滅に先立つ。」(箴言 16 : 18 参照)

神は私たちの罪に加担することはおできになりません。神は私たちを罪に誘惑されません。神が、私たちの人生で罪を助長することに関与することはおできになりません。主はいつも私たちの人生で、不従順ではなく、従順である環境を作ってくださいます。ですから主は、破壊的で、破滅につながるプライド/驕りという罪に対して、私たちが影響を受けやすく脆弱になる場所に私たちを置き去りにされません。ですから、あの試練から私たちを守るために、この試練に私たちを送らねばならないのなら、主はそうされます。ところで、ネタバレ注意、彼らは向こう岸に辿り着きました。それが完全に見失われています。私たちは、ここで止めてしまって、「わお！ペテロは水の上を歩いた。イエスから目を離して、沈み出した。イエスから目を離してはいけません。」「分かりました。目を離しません。」「あなたは水の上を歩けるのです。」「OK。そうします。」「イエスがあなたのところへ来られます。」「OK。分かります。」「イエスは、3語の祈りに答えられません。」「はい。主を褒め称えます。」

でも、私たちはその先に行かず、神が大変守ってくださることを考えず黙想しない。神は私たちを守ってくださるだけでなく、方向を変えてくださることもあります。私たちは乗り越えるのです。私たちは向こう岸に辿り着くのです。そう、イエスは仰いました。「舟に乗りなさい。すぐに。」「ペテロよ、乗りなさい。」するとペテロは舟に乗った。きっと一番最後ですよ。最初に舟から出た人なのに。ええ、最後に舟に戻りますけど。でもイエスがあなたにこう仰ったら、「あなた方は向こう岸に行きます。向こう岸で会いましょう。実は、あなたを向こう岸に連れて行くために、嵐の真っ只中で会いたいのです。」それってカッコいいですね。でもイエスが、「あなたは向こう岸に行きます。」と仰れば、あなたは向こう岸に行きます。当然の話の把握だと分かっていますけど、イエスは、あなたの人生の嵐の中におられます。事実じゃないですか？ 私が認めるのは、「私は乗り越えられません。私はこれを乗り越えられません。私は他のことは乗り越えた。イエスは見守ってくださった。でもこれは違う。これが終わり。これが終わり方。」いいえ、イエスは仰いました。「あなたは向こう岸に行きます。」イエスはあなたにそこで会われます。イエスがそう仰ったなら、どうです？ それが起こるのです。ちょっと雑かもしれませんが、向こう岸に辿り着くのは、自分が期待している時ではないかもしれませんが。でも辿り着くのです。順風満帆ではないでしょうけど、これについても話しましたね。あなたはそれを望んでいません。私もそれを望んでいません。なぜか？ なぜなら、繰り返しますが、雨が降らず、嵐がなく、雲もなく、何も無い。それを砂漠と言います。不毛で、何も育たない。皆さん、まずい描写でしょうけど、それでも言います。風という逆境があるからこそ飛行機を飛ばし続けるのです。飛行機を上昇させる翼を保つためには、風の逆境が必要です。逆境について、私たちは非常に、、、、なんと良いでしょ。私たちは逆境に非常に抵抗します。本当に考えてみれば、私たちはクリスチャン生活を逆境に耐えるものにするために、あらゆる努力をしないのですか？ つまり、私たちは、逆境を避けるために大変な努力をします。実際には、嵐の中の逆境がなり得るのは、自分に起こりうる最高のことです。これが話の向かう先で、なぜその話をするのかです。これは、より大きな試練から守るためだけでなく、より大きな奇跡への準備でもあります。嵐がなければ、奇跡はありません。何度、不可能な状況に置かれたとき、神が不可能を可能にしてくださったことがあったでしょうか。不可能でなければ、神がなさらなかったであろうことです。皆さん、分かったと言ってください。でしょ？ つまり、これがなかったら、ペテロは決して経験しなかったでしょう。弟子たちは、ペテロが水の上を歩く奇跡を目撃することもなかったでしょう。この嵐がなかったら、決して起こっていませんでした。試練がなかったら、奇跡はなかったでしょう。ここで私たちは、逆境に立たされるたびに戦い、蹴り、噛みつき、ひっかき、その他もろもろのことをしています。そう、きっと自分に話しているのでしょうけど、私たちは試練を恐れます。私たちは試練が怖いのです。本当は、それを受け入れるべきなのです。私たちが恐れる試練の中で、その試練を通して神がなされることのために故に。信仰が鍛えられ、奇跡がもたらされる。試練がないと、奇跡はない。試練は奇跡。時に、状況は非常に危険で、こうなります。

「神よ、これは非常に悪いです。あなたがこの状況に入れられました。あなたが何をしようとされているの

か分かりません。でも、あなたは何かをしようとされています。なぜならあなただけが、私をこの状況から脱出させられるからです。」

そう、これにユーモアを入れるのをお許してください。神がこう仰る感じです。

「おお、そろそろ分かってきたのですね？ そう、それが正に、わたしがしていることです。わたしはあなたを、この試練、嵐、絶対的に、全く不可能で、あらゆる危険にさらされるこの状況に置いています。それが危険で、全く不可能でないとできないことをわたしはしようとしているから。」

想像してみてください。最後に、全てが静まり、嵐が止まって、主が舟におられ、イエスが舟におられるから、嵐はありません。全てが静まり、弟子たちが向こう岸に着く。私はクリスチャン人生の書で、その章が好きです。その最終章が。あなたがページをめくると、舟でイエスと一緒に、向こう岸に行くのですよ。イエスは、向う岸に立って、手を振りながら、待っておられるんじゃないありません。

「お～い！ やっと来たんだね。君たち、そしてペテロ。とにかく、乗り越えたのを見て嬉しいよ。ずっと待っていました。祈りながら待っていました。では行きましょうか。」

違います。イエスは、舟と一緒に乗っておられるのです。「大丈夫。わたしは共にいます。わたしはこの状況で共にいます。」時に、おられないように感じますが、いいえ、主は共におられます。主はそこにおられます。「ええでも、そんな風には感じません。」ああ、私たちは感情で歩み、生きるのですか？ 信仰ではなくて？ なぜなら信仰は、感情の対極ではないですか？

信仰とは、目に見えないもの、感じないものを確信させるものでは？ **(ヘブル 11:1)**

なぜなら私たちは、言わば、触って感じて、になりがちだからです。それに触れて、感じたら、私は大丈夫と。いいえ違います。それは信仰ではありません。信仰とは、まだ実現していないものに対して抱く希望です。信仰は見る、触る、感じるの対極です。見るのが信じること（百聞は一見にしかず）ではなく、信じるのが見るのです。イエスは仰いました。

「信じれば、見るのです。」(ヨハネ 11:40 参照) ですから、私たちは自分自身から奪っていると思います。神は時に退かれます。なぜなら神は、私たちが耐えられない以上の誘惑や試練にあわせることはあられません。**(1 コリント 10:13)**

でも、試練の中で、そして試練を通して、そうでなかったらいいのですけど、でも、試練の中で、そして試練を通して、私たちがそれに耐えられるよう、主は脱出の道を備えてくださいます。ヤコブが語ったことはどうです？ 基本的に、試練を乗り越えるために必要な忍耐力、、試練を乗り越えるために必要な忍耐力は、試練を乗り越えることで得られます。(ヤコブ 1章参照)

いいえ、私は忍耐力が欲しいのです。「OK。試練を与えます。」いいえ、私は忍耐力をお願いしました。

「ええ、でも忍耐を得るには、試練を経験するしかありません。」いいえ、忍耐の処方箋が欲しいのです。

試練を経験する処方箋じゃなくて。言いすぎたかもしれませんが、ポイントは伝わりましたね？ 言い換えれば、忍耐力が欲しいのです。力が欲しいのです。持久力が欲しいのです。霊的な成熟が欲しいのです。品性が欲しいのです。でも、忍耐力、持久力、品性を手に入れるため、私が経験しなければならないようなことはしたくありません。「そういう仕組みではありません。」私は冗談めかして、ユーモラスにこのことを話しますが、これには多くの真理があります。あなたが、「神よ、私を祈りの人にしてください。」とお願いすれば、天の軍勢の御使いたちは言います。「あらま～おお、彼は言わなかったよね。」「いや、彼はそう言ったよ。」なぜなら、彼らは知っているからです。「私を祈りの人にしてください」と祈れば、神は「よし、あなたがそれを求めたので、それはかなえられました」と仰ることを。そして、あなたは顔を伏せて祈ります。

「おお、神よ～～！！」そして神は、「あなたは祈りの人になるようわたしに求めました。わたしはあなたの祈りに答えています。ご覧なさい。あなたは祈っていますよ。」ええ、でも、私を祈りの人にするために、あなたがこんな風に私の祈りに答えて下さるとは思いませんでした。私はただ、あなたが私を祈りの人にして下さると思っていただけです。あなたが私に二人の息子を与えて下さるとは思ってもみませんでした。「それはあなたを祈りの人にするでしょう。」

そして彼らは成長し、やがて娘が生まれ、その娘が運転免許を取得する。そうしたらあなたは祈る人になりますよ。」一泣一（ぶつくさ言いながら、そして彼女は、）携挙が先に起こる。そうでしょう、主よ？お願いします。「あなたはわたしに、祈りの人にしてほしいと言いました。わたしがあなたを祈りの人にする唯一の方法は、あなたがこれらのことを経験することによって、わたしの前にひざまづき祈りになる事です。」正直になろうじゃないですか。人生において物事がうまくいっているとき、、、もう少しで終わりますから。私たちの人生がうまくいっているとき、それは祈りの生活にも現れますよね？そして逆に、逆境に陥ったとき、私たちの祈りの世界はがらりと変わりますよね？祈りの長さについて言うだけでも、長さや強さがあります。今や、3語の祈りではなく、3段落、3ページの祈りです。ああ、神様！そう、そうなくては。今、私たちは祈っています。私は、、、それは、、、他に言いようがないのですが、人生の試練に比例するのが祈りの生き様です。思うのですが、私の場合は、特に最近、人生の試練が多くなるにつれて、誤解を招かないことを願います。私は、このような困難な試練や嵐を経験していないクリスチャンを気の毒に思うほどです。なぜなら、彼らは奇跡の杯、解放の杯、癒しの杯を味わっていないからです。ちょっとしたことです.....そしてこれは、今回の近況報告につながるもので、多くの方がご存知のように、進行性の乳がんと闘っている私の妻に関する祈りの更新なのですが、ところで、皆さん、本当にありがとうございます。妻は、皆さんからの溢れんばかりの愛と祈りに感謝していることをしっかりと伝えてほしいと言いました。圧倒されるというのは大げさではなく、実にその通りなのです。本当に圧倒されています。私たちはとても愛されています。なんと素晴らしい。ありがとうございます。今が私たちにとって困難な時期であることは確かです。私は今日、スタッフたちに、一分一秒を争うと伝えました。"しかし、神は"、ですよ？これはより大きな試練であると同時に、より大きな奇跡でもあることを、私達は知っています。なぜなら、私たちは再び味わっているからです。前回は娘のノエルが亡くなったときでしたが、私たちは神の善の杯を深く飲み、味わいました。神は今も、これまでも、そしてこれから良いお方であられます。それがどんなに悪いことであってもです。繰り返しになりますけど、これが誤解を招かないことを願っています。でも、人生でそういう試練や嵐を経験し、あなたはそこを通り抜け、その向こう側に立つ時、神との密接な関係を経験したことで、あなたはほとんど、、、もう二度と経験したくはないでしょうが、あなたは、あの近さ、親密さ、深く飲みつつ主の味を味わい、主が良いお方であることを知ったあの時を懐かしく思うのです。私たち夫婦にとって、朝の時間、祈りの時間、子供たちが起きる前の静かな時間、それはとても大切な時間です。私達は会話をかわし、、、私たちは喜びと静寂のポケットと呼んでいますけど、でも、私たちはただただ、その小さな、小さな指跡、小さな、神がしてくださる小さなことについて話していました。そしてこう言います。

「わあ、神様、ありがとうございます。それって、すごいです。」大したことなくいいのです。ほんのちょっとしたことで、神の御手の跡みたいなものです。「わたしはまだあなたと一緒にいますよ。あなたが嵐の中にいることは知っています」いや、いや。「もしあなたが知ってさえいれば。わたしがあなたの内でも何をしているのか、あなたが知ってさえいれば。」なぜなら、神はまず私たちの内でその働きをなさない限り、私たちを通して何かをなさることはできないからです。そして、それが難しいことであればあるほど、苦しいことであればあるほど、イスラエルの甘美な詩篇の作者、ダビデが「詩篇 27:13-14」で言うように、

一 詩編 27:13, 14一

もしも私が生ける者の地で主の慈しみをみると信じていなかったなら--、、、心を強くせよ。

ああ、これは本当に恐ろしいことです。これは、私たちにとって未知の領域とでも言えばいいのでしょうか？でもね、同じような経験をしている人、もっとひどい経験をしている人がどれだけいると思いますか？私たちの祈りのリストに入っているんです。これらの祈りの願いのいくつかを読めば、それがあなたの目の前に浮かんでくるでしょう。非常に多くの人々が。ウェブサイトや教会のEメールを通じて、癌についての体験談を話してくれる人たちが大勢いるのです。ステージ4の癌で、彼らは身辺整理をしると言われたのです。もはやここまでです。何をやっても効果がないのです。そして神はただ彼らを癒されたのです。奇跡的なことであり、主だけがそのご栄光を受けられました。自然治療でも、従来の治療でも、その両方でもありません。いいえ、それをなさったのは神だったのです。神は、私たちが語るように、それを成し遂げたのは神であることに疑問の余地がないようになさったのです。妻と私は神に信頼しています。私たちは神のいつくしみを信頼しています。ええ、これは悪いことですが、神は良い方です。そして、それがどんなに悪いことであっても、神がどれほど良い方であるかを変えることはできないし、変わらないのです。最後に

もうひとつ、ここで難しい話から良いほうへと向かいます。ノエルが死ぬとわかっていたときのことで、私たちが、人々が言うことから取ったすべての統計ですが、

「知ってます？子供の死を経験した夫婦の90パーセントは離婚に至るとか。」本当にありがとうございます。わお、なんと、本当にありがとうございます。サタンよ、汝の後ろへさがれ。何ですって？ そう、98%ですよ。実際、これは統計として成立しています。私は何十年にもわたるミニストリー活動の中で、子供の死、不慮の死、予期せぬ子供の死によって、結婚生活がうまくいかなくなるのを見てきました。クリスチャンの結婚生活が、です。その痛みがあまりにも激しいからです。しかし、私と妻の場合は、それが私たちの距離を縮めてくれました。そして、それが私たちの距離を縮めただけでなく、私たちが距離を縮めた理由は、まず私たちの主との距離が縮まったからでした。イエスは私たちと一緒に舟に乗り、私たちは向こう岸に着いたのです。そして娘のサビアが生まれたのです。そして、あの試練を経験しなければ、娘の誕生という奇跡を体験することはなかったでしょう。娘のノエルが亡くなっていなければ、サビアは生まれていなかったのです。時として、私たちは、神の偉大さと壮大さを、私たちの限られた、限界のある、墮落した理解の中で制限してしまうことがあるのだと思います。神は、イエスがペテロにこう仰ったとき、『信仰の薄い者たちよ』、それは...あなたたちには大きな神がおられるのに、あなたたちの考えはあまりに小さく、信仰はあまりに薄い。あなたはわたしにこう願っていて、わたしはそれを成し遂げたいのです。あなたはあなたの妻についてわたしにこう頼んでいます。わたしがそうしたくないとしたらどうですか？ 代わりにこうしてあげたいと思っただら？」ほら、よくあるやりとりなのですけど、もう本当にもう締めくくりますが、これはたぶん、誰かのためなのか分かりませんが、でも、私たちがよくするやりとりは、「やあ、調子はどうだい？」「まあ、水面で何とか息をしているよ。」そうなのですか？ では、神がもっと大きな奇跡を起こしたくて、あなたを水中で呼吸させられたら？ それこそ、より大きな奇跡ではないでしょうか？ しかし、もしあなたがその試練の中で、水面上に頭を出し続けようとしていないのなら、どうして水中で呼吸をさせるという奇跡を、神が起こすことができるのでしょうか？ 私、水中で呼吸していますよね？ 私は水の上を歩いているではありません。水中で呼吸しているんです。私はもう沈んでしまったのです。これまでです。もうとうに過ぎてます。全部終わりました。私は水中にいますが、まだ息をしています。そして、私の妻も。それがより大きな奇跡なんです。最後にもうひとつ、って言いましたっけ？これが最後です。パウロがコリントの信徒への手紙にこう書いている時、あなた自身が神によって慰められたのと

同じ慰めをもって、互いに慰め合いなさい。(II コリント 1 : 4 参照)

あなたが経験していたことを、慰めを必要としている人が今、経験しているのです。最後にもう一度だけ、ノエルについて触れます。これまでの何年間で、何組のご夫婦に奉仕できたかをご存知ですか？ ちなみに彼女は17歳になっていたはずですよ。彼女が運転していたでしょう。とにかく、どれだけ私たちが長年にわたって、子どもを亡くしたご夫婦のために奉仕する機会に恵まれたか、おわかりですか？ 娘が亡くなったとき、私たち自身が神から授かった慰めで、彼らを慰めることができました。私達は、彼らが今経験していることを経験したからこそ、私達は彼らを慰めることができましたし、彼らもその慰めを受け入れることができました。では、癌の話に早送りしましょう。で、何かあるとすれば、これは、、そしてこれは良いことなのですが、これによってひとつ起きていることは、、まさにこれ以上必要なものではありません。

天国と携挙を待ち望むこと。これも逆境のなせる業ですよ？

試練は、私たちがこの世や世のものに対して握り締め続けている力を緩めてくれます。私はもう、この世にはうんざりです。すべての癌、すべての病気、病と死。待ちきれません。なぜなら、私たちと永遠の未来のために準備されている場所には、もう癌はないのですから。もう死はない。もう痛みもない。もう夜もない。ゴキブリもいないし。もう白アリもいません。そんなものは一匹もいません。－ (笑) －

住宅ローンの支払いもうありません。そんなものは一切ないのです。永遠に栄光が続くのみです。そして、これら人生の試練は、あなたを整え、準備させ、待ち受けるものに対して堅固にさえしてくれます。かつてもそうであったし、そしてそのすべてを通して、私は人に対する思いやりを持つことを学んでいます。こういうことを経験すると、人に対する思いやりが強くなるのですね。先日、ケリーが私にこう言ったのです。彼女は、、彼女はタフな女性ですよ、あの娘は。まあ、私みたいなのと結婚するんだから、そうでなくっちゃね。彼女は外へ出かけるのですが、彼女は私よりも多く出かけています。で、彼女は言うのです。

「人を見る目が変わったわ。そうでなければ気づかなかったような人に気づくようになったのよ。そして人々のために祈るの。苦しみや痛みを目の当たりにし、病弱な人や具合の悪い人に気づくのよ。そして、私はただ慈しむの。」

以前は違っていたのではありません。誤解しないでほしいんだけど、彼女はいつもそうなのです。でも、今はそれがより顕著になっています。じゃあ、最後の最後。ローマ人への手紙 8 章 28 節です。私たちはこの聖句が大好きです。なんという約束でしょうか？ “神はすべてのことを働かせて益としてくださる。”

私たちの益の定義が、神の益の定義と同じであると思いますか？ というのも、私たちが考える "良いこと" とは、私がおっと経済的に余裕を持てるように、主がうまくやってくくださることです。オーケー、それはいいことです。でも、それはあなたの定義にすぎません。もし、このことから神がもたらし、共に働こうとしている益が、もっと慈しみと謙遜を持つようになることだとしたらどうでしょう？ そして、あなたがよりイエスのようになることです。あなたはもっと優しくなれます。それらはすべて聖霊の実です。あなたはもっと愛が深くなります。もしかしたら、それが神の益の定義なのかもしれません。神があなたを向こう岸に連れて行かれるとき、その状況から何かを成し遂げたいと望んでおられるのです。もしかしたら、主が成し遂げようとしておられる益は、赦しなのかもしれません。それは素晴らしく良いことです。多分、そうでしょうが、それが神の益の定義なのです。私たちは良いことを物理的な意味や物質的な意味で定義しがちです。しかし、霊的な意味でもっと重要なのは、神が、働きかけて引き出したいと望まれておられる益なのです。それにより、神はそれを共に働かせてくださり、ローマ人への手紙 8 章 29 節にあるように、あなたをイエスに似た者へとなさるためです。それが神の目的です。あなたをイエス・キリストの姿に近づけるためです。そして、この状況から抜け出すとき、あなたはよりイエスのようになります。そして、それこそが、この状況から生み出される益なのです。まあ、思ったよりかなり長引きましたね。クリスがそのことをとても喜んでるのは知っているのですけれど、

まずはレイトゥ牧師から始めましょう。上がってきてください。そしてレイトゥ牧師の後は、マック牧師です。そして、マックの後にはクリスです。その後、私が戻ります。そして、もう 1 時間話します。レイトゥ牧師：30 分ですよ？ — (笑) — JD 牧師：たったの？

皆さん、アロハ。「ローマ人への手紙 12 章」から分かち合いたいと思います。7 節から 13 節を読みます。

— ローマ 12 : 7 —

奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教え、

— ローマ 12 : 8 —

勧めをする人であれば勧め、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、... (神がリーダーシップを与えておられるなら、その責任を真剣に受け止めてください。) ...慈善を行う人は喜んでそれを行いなさい。

— ローマ 12 : 9 —

愛には偽りがあってはなりません。(心から愛しなさい。) 悪を憎み、善から離れないようにしなさい。

— ローマ 12 : 10 —

兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい。

— ローマ 12 : 11 —

勤勉で怠らず、霊に燃え、主に仕えなさい。

— ローマ 12 : 12 —

望みを抱いて喜び、苦難に耐え、ひたすら祈りなさい。

— ローマ 12 : 13 —

聖徒たちの必要をともに満たし、努めて人をもてなさない。

J.D.牧師、マック牧師、スタッフを代表し、そして私自身、ここカルバリーチャペル、カネオへのキリストの体のために祈り、仕える機会に祝福されています。霊的、物理的なニーズを抱えた人たちがたくさんいます。ここの指導者たちは、キリストの体を愛し、気にかけています。もちろん、祈りであれ、その他の必要であれ、理由ある限り、これらの要求を満たすため最善を尽くします。過去に、主はこのミニストリーを通して、必要としている多くの人々を祝福されました。兄弟姉妹のために奉仕できるのは、光栄です。私たちの神、御父、主イエス・キリストに仕えることは光栄です。祈りましょう。

天のお父さま、私たちはあなたの御座の前に参ります。主よ、あなたの愛、あなたの優しさ、あなたの善に、また今夜語られた、あなたの思いやりに感謝します。主よ、私たちの祈りを聞いてくださることを感謝します。私たちのあらゆる必要を満たしてくださることを感謝します。特に救いを。私たちは十字架と、あなたがひとり子を遣わしてくださったことを決して忘れません。だから、あなたに信仰と信頼を置くことで、私たちは救われるのです。主よ、あなたを愛しています。私たちはあなたを礼拝し、あなたを慕い、今日、あなたを掲げます。私たちが直接あなたと会う日まで、毎日毎日。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

マック牧師：皆さんに祝福と平安が増し加わりますように。「箴言 21 章 31 節」の神の御言葉がこう語ります。

一 箴言 21 : 31 一

戦いの日のためには馬が備えられる。しかし、救いは主による。

JD ファラグ牧師とここのスタッフを代表し、警備部門でボランティアをしてくれているすべての人に感謝したいと思います。私たちが生きている今の時代は、確かに日に日に危険になっています。舞台裏では、皆さんの多くが目にしなないことが起きています。しかし、おそらく推測可能でしょう。この島のこの位置にいることに感謝し、そして、主が私たちが祝福してくださった土地、私たちが安全な場所に置いてくださることに感謝します。でも「箴言」は語ります。「戦いの日のためには馬が備えられる。」私たちには、個人として、スタッフとして、クリスチャンとして、そのすべての責任があります。そして、私たちが前進していく中、「友のために命を捨てるといふ、最も大きな愛」想像を絶することをやってのけるボランティアの皆さんに、感謝の言葉を送りたいです。あなたは最前線に立ち、恐れ知らずで、主がこの主の教会を守り続けてくださり、本当に私たちが救い出してくださることを知っています。日々、激しくなる中で、地道な働きに感謝します。そのためにあなたはここに静かに、揉めることなくいる。不平を言わずに。それはすべて、あなたの奉仕の心が故です。そして、それは認識されないままにはなりません。私たちは、あなた方の奉仕に心から感謝し、あなた方を愛し、あなた方とその家族、愛する人たち、そしてこの教会が守られ続けるよう、今から祈りたいと思います。一緒に祈りましょう。

愛する天のお父様、主よ、私たちを守ってくださる究極のご存在であることを感謝します。私たちには、あなたがいてくださるのを知っています。あなたは、私たちが準備できるようあなただけが提供できるご方法で、私たちに識別力を与えてくださいました。私たちは、このあなたの教会を守る天の軍勢が、あらゆる敵を寄せ付けないために、遠く広く飛び回っていることを知っています。しかし、主よ、あなたが一人の侵入を許されるなら、どんな脅威をも阻止するため、あなたは私たちに、あらゆることに十分な注意を払わせてくださいました。そして、あなたがこの教会に連れてきてくださった、ここにいるすべてのしもべたちを感謝します。主よ、心から感謝します。どうか彼らを祝福し、守り続けてください。そして、彼らに奉仕の心を与え続けてくださいますようお願いいたします。そして主よ、私たちは、あなたがこのミニストリーを通してなされ続けている全てに感謝し続けます。私たちはあなたを愛します。救世主イエス・キリストの力強い御名によって、あなたを心から賛美し祈ります。アーメン。(ありがとうございます。)

クリス：あら、私は背が小さいですね。OK。JD 牧師は、冗談好きだから、私の名前を何度も仰って、その理由は、私は人前で話すのが嫌なんです。それで JD 牧師は、こうです。「わかったよ、クリス。やりたくないければ、やらなくていいよ。」で、私は言ったのです。「先週木曜日、私の名前を出さなかったですか？」

だから、もう嫌だとは言えなくて。でもとにかく、子どもミニストリーで何が起きているのか、少しお話ししたいと思います。過去4年間、私たちは創世記からヨハネの黙示録まで『Answers in Genesis』のカリキュラムを使ってきました。来月、実はヨハネの黙示録のカリキュラムを終えることとなります。黙示録まで20年かかったJD牧師を追い越します。創世記からヨハネの黙示録まで4年かかりました。それで、黙示録の後は、創世記に戻って繰り返し、主が私たちの中に連れて来られた誰に対しても、神の御言葉を教え、宣べ伝え続けます。ですから、一緒に祈ってくださいませんか？恵み深き天のお父様、私たちはあなたの御前に出て、あなたがミニストリーに連れて来られる子どもたち一人ひとりを、あなたにすべての感謝と栄光と賛美を捧げます。毎週末、不眠不休で働く奉仕者たちをあなたに心から感謝します。互いにカバーし合い、私たちはそれ以上にとっても祝福されています。お父様、あなたは仰います。

「子をその行くべき道に鍛えなさい。そうすれば、その子が年老いても、離れることはない。」(箴言2:6)

お父様、親たちのために祈ります。私たちが喜んで子供たちをこの世界で育てていく大胆さと勇気を持ってますように。欺瞞と嘘に溢れているからです。そして、私たちに必要な強さと、あなたの真理において子供たちを育てる知恵を与えてくださいますように。私たちが臆することがありませんように。もう一度、私たちはあなたにすべての感謝と栄光と賛美を捧げます。そして、どうかこのミニストリーの中で奉仕する教師たちや人々に、あなたの知恵を注ぎ、強め続けてください。あなたに仕え、あなたを讃える心を私たちに与え続けてください。私たちはあなたの御名を讃えます。JD牧師、マック牧師、レイトゥ牧師のリーダーシップの下で、神の御言葉を教え、宣べ伝えるこの教会でこの特権と聖職への召しに心から感謝します。イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。

JD牧師：それでは、残りの時間を使って、とりなしの祈りの時にしましょう。主が導かれる通りに祈ります。皆さん、祈りのリストを持たれましたか？

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7